

2018年3月23日 第3238回例会

於：よこすか平安閣

【第一部】情報集会

《6F パルテノン》



- 18:00 池上健一会員・淡路なな恵会員 退会挨拶
18:05 R情報・研修委員会 吉田委員長よりテーマについて説明
18:07～ テーマ「五大奉仕を通じた横須賀RCのあるべき姿」
18:45 RI2780地区パストガバナー
地区研修委員会 委員長 相澤光春様 (ふじさわ湘南RC)

「五大奉仕を通じた横須賀RCのあるべき姿」

みなさんこんばんは。歴史とその培われた文化のある横須賀ロータリークラブの例会に伺うことが出来、大変光栄に存じております。冷や汗がでるくらい緊張しております。

横須賀ロータリークラブには大先輩であり公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事元RI理事の小沢一彦様がいらっしゃいます。私にとって今日この場にいられるのも小沢様の温かいご指導をいただいておりますものと感謝申し上げます。また、小佐野圭三PGの時にガバナー補佐を務めさせて頂きました。先ほどいかがいしましたが、上林大先輩が在籍50周年という事で、私は到底無理だと思いました。

過日ご逝去されました故渡辺治夫様とはロータリー活動を共に育ませていただきました良き友人でありました。本当に残念でございます。

本日は大変難しいテーマを頂きました。私はまだまだ勉強中でございますので、お話できるか心配しております。お許し頂ければ幸いです。

イアン H. S. ライズリーRI会長のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」でございます。「ロータリーとはなんですか？」という問いに、私達は「ロータリー：変化をもたらす」と答えます。また、私にとってロータリーとは「どのような団体か」ではなく「何をしているか」で定義されますと述べられております。

本年度小林康記会長のクラブ活動の基本方針を拝見させていただきますと、先輩方が築かれた伝統を守り「明るく、楽しく、格調高く」責務に邁進したいとされております。特に2014年6月、当時の吉田清会長時代にフィリピンの医療関係者を日本に招待し実施された職業研修(VTT)は、人道的奉仕活動・ドマゲッティー市のドマゲッティー南ロータリークラブとのグローバル補助金を活用された医療支援活動共同プロジェクト事業の実施をされました。そして、この人道的奉仕プログラムは持続されておられます。また、3月に実施された10,000メートルプロムナードクリーン作戦に多くの方々を動員されたことはライズリー会長の「何をしているか」だと思えます。

「ロータリー」が私たちに与えてくれる可能性とは持続可能な奉仕により実現されます。持続可能な奉仕は地域社会のニーズと地域社会の一員であり、1人の地域社会のロータリアンであると存じます。奉仕の実践をすることにより自分自身に変化が生じます。

私は大切にしている言葉がございます。「親炙」という言葉です。「親炙」とは親しく接してその感銘を受けることと存じます。それは例えば奉仕活動に積極的に参加することにより色々な方々と出逢うことがで



きます。参加して出逢うこと、接することはそれぞれの方の人間性、人柄に触れ合うこととなります。素晴らしいロータリー活動をされ、人生経験を重ねられ、地域社会のロータリアンとして魅力ある方々です。その方々と出逢うことができ、奉仕プロジェクトに参画し、行動・実践することにより私自身多くの刺激、感化を受けました。

人間性とは人間として生まれつき備えている性質（知性・感情・意志）であり、人間性を高めるとは知性・感情・意志力をバランスよく高めること。知性とは物事を知り、考え、判断する能力、経験、考え方、生き方などを吸収すること、それらを自分のものにしていくことだと思います。

感情とは、喜び、悲しみ、怒り、あきらめ、驚き、嫌悪、恐怖といった気持ちで、感情をより多く経験し向き合い、何事にも人と一生懸命に接することが大事です。

意志力とは、自分自身をコントロールしてやり抜き、それを積みかさね、それによって充実感や達成感を得ることです。

ロータリアン共通の目的や指針として113年をかけて形作られたものです。世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。私達の中核的価値観を表しています。

2007年規定審議会で標準ロータリークラブ定款の第5条に「四大奉仕部門」の定義がされました。2010年の規定審議会で「青少年奉仕」が第五の奉仕部門となり「五大奉仕」となりました。標準ロータリークラブ定款第6条 ロータリー五大奉仕部門にはロータリークラブ会員が各奉仕部門で行う活動、行動などが示されています。この奉仕部門はクラブ活動のための枠組み。ロータリーの目的は組織として目指す目標で五大奉仕部門に基づいて成果ある奉仕プロジェクトの実践をすることにより会員を増やし、リーダーの育成することによりロータリー（ロータリー財団）の発展に寄与する基本の方針です。

ロータリー綱領（目的）に基づく奉仕部門は、ロータリアンとしての行動は、8つの「ロータリーの行動規範」が推奨されております。

- ① 高潔性という中核的価値観の規範を示す
- ② 職業の経験と才能をロータリーの奉仕に生かす
- ③ 高い倫理基準を奨励、活動のすべてを倫理的に行う
- ④ 公正に努め、尊重の念を持って接する
- ⑤ 社会の役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念
- ⑥ 若い人々に機会を開き、地域社会の生活の質を高めるために自らの職業的才能を捧げる
- ⑦ ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、評判を落としたり、不利になるような事はしない
- ⑧ 事業または専門職上の関係において普通には得られない便宜・特典を同輩ロータリアンに求めない

ロータリーは草創期以来113年の間、地域社会に変化をもたらしてきました。その間培われたロータリーの基本理念などはR Iの戦略計画のロータリー活動の基本理念である中核的価値観として又具体的な実践目標の三つの優先項目として現在推進してきております。すなわちR Iの戦略計画の理念中核的価値観には、親睦・奉仕・高潔性・リーダーシップ・多様性があります。

ロータリー活動における理念と実践とは、理念のない実践は活動に価値がなく、実践しない理念だけの活動は心のよりどころがなく、充実感が得られないものとなります。

価値観は、ロータリーの基本理念（使命・四つのテスト・ロータリーの目的など）に根付いています。人と人との関係における高潔さを養い、維持していくために奉仕の理想を培い指示するよう私達を鼓舞・激励するものです。行動を主体とした価値観については、「奉仕の実践」→ 意欲を高める → ロータリーの目的を理解できる人 → ロータリークラブが元気になる → 地域の方々にロータリーを知ってもらう機会 → ロータリーの奉仕活動に参加したい → ロータリーに入会したいとなっていきます。

ジョン F・ジャーム直前R I会長の戦略計画とは、公共イメージの認知度の向上・人道的奉仕の重点化と増加としています。ロータリーこそ世界を変える場所と言っています。クラブのサポート強化ということで、クラブに柔軟性を取り入れること。例会を何回開いたではなく「地域社会にどのように変化をもたらしていますか」というものです。

ジョン F・ジャーム氏は1976年にチャタヌーガRCに入会しています。友人曰くジョン・ジャーム氏のリーダーシップ要素として①常に紳士の②誰にでも親身③何でも達成するとあげています。彼は、ロータリーはその素晴らしさを隠し続けてきており、活動を多くの人に伝える必要がある、注目を集められればロータリーが世界でよいことをしていることを見てもらえ結果、奉仕志向の強い次世代の人達をひきつけると言っています。積極的な参加を通じ、会員の熱意や地域社会とのかかわりあいなど、その実践を通じ、よりロータリーの理解が深まりロータリーでの体験が自らの職業に役立ち、その結果として人間的成長へ導く機会となります。クラブの未来を形作り、クラブと地域社会に貢献していると実感できるような「元気なクラブ」を実現しましょう。

戦略計画はロータリーの目的達成の重要な手段でもあります。いうまでもなく、ロータリーの活動の原点はクラブの活動であり、クラブの素晴らしい実践活動を地域社会との関わりあいを深めながら中核的価値観のもと自主的に積極的な奉仕活動を推進していただければと存じます。

奉仕の中に親睦が生まれ、親睦の中に奉仕の概念が生まれてきます。奉仕はより良い人間関係を創造し、奉仕の実践はクラブの中から湧いてきます。私たちの目標はロータリーの活動が広く認知され、理解していただくために積極的に戦略計画を実践していただきたいと存じます。

同じ志をもつ人が友人となって集まりそこから奉仕活動が生まれてくる。報いを求めているから奉仕をしているわけではありません。私達は奉仕をしたいから活動をしている。私達の価値観原則を結束するからこそロータリーは非常に特別な存在なわけです。

ウィリアム・ボイド氏が「親睦と奉仕」の関係について

- ① 同じ志を持つ人が友人となって集まり、そこから奉仕活動が生まれてくる
- ② 私達は奉仕をしたいから活動しているのであって報いを求めているから奉仕をしているわけではありません
- ③ 私たちの価値観、願いを結束するからこそ、ロータリーは特別な存在です。
- ④ 関心があるということが私達の価値観であり、それを実行することがロータリーのユニークさであると語っています。

イアン H. S. ライズリー会長は公共イメージと認知度向上のため、「People of Action」を地区、クラブで一貫性、継続性を持ってロータリーブランドを発信することが大切と言っています。

2017年6月、理事会と管理委員会はロータリーの新しいビジョン声明を採択しています。「私達ロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」

ロータリーで私たちは手を取り合います。なぜなら協力すれば1人よりはずっと強くなれると知っているからです。私たちは行動します。ロータリーは夢想家ではなく実行する人の集まりだからです。私たちは持続可能な変化を生みます。私たちの活動が終わった後に永く続く変化を。世界での変化、地域社会での変化は私たちが決して会うことのない人や、最愛の人を含め、すべてに影響します。ビジョン声明はロータリアンがこれからも長期的に反映していくために未来の方向性を定めるものであり、ロータリーが世界と会員にもたらしたいと願うインパクトを表します。

ロータリーは現在、次の戦略計画の土台となる優先事項を練るための作業を行っています。私たちの仕事の次の段階、つまりビジョンに息吹を与えるのに必要な戦略計画と優先事項を立てるために豊かな土壌を作るためにも貴重なのです。

2018-19年度国際ロータリー、ロータリー財団の目標は

- ① 現会員を維持する
- ② クラブの会員数を増やす
- ③ 新クラブを結成する
- ④ 女性会員、40歳未満の会員、ロータリーに入会するローターアクトの数を増やす
- ⑤ ポリオ撲滅活動への現金と地区からのDDF寄贈を増やす
- ⑥ DDFを利用した地元や海外での地区補助ならびにグローバル補助金を増加
- ⑦ インターアクトとローターアクトが地元のロータリークラブや地域社会と一緒に奉仕プロジェクトに参加するよう促す
- ⑧ 年次基金への寄付を増やし、2025年までに20億2500万ドルの恒久基金を達成する

- ⑨ ポリオ撲滅におけるロータリーとロータリアンの役割の周知を図る
- ⑩ ロータリーへの認知を高め「世界を変える行動人」キャンペーンを推進する
- ⑪ ロータリーショーケースとアイデア応援サイトを利用したり、クラブ史を記録することでロータリークラブのプロジェクトに対する認識を高める

終わりに戦略計画はロータリーの目的達成の重要な手段でもあります。言うまでもなくロータリーの活動の原点はクラブの活動であり、クラブの素晴らしい実践活動を地域社会との関わり合いを深めながら中核的価値観のもと自主的に積極的な奉仕活動を推進して頂ければと存じます。奉仕の中に親睦が生まれ、親睦の中に奉仕の概念が生まれてきます。奉仕はよりよい人間関係を創造し、奉仕の実践はクラブの中から沸いてきます。私達の目標はロータリーの活動が広く認知され、理解していただくために積極的に戦略計画を実践して頂きたいと存じます。

【 第二部 】

《 6F セレーネ 》

<点鐘・開会> 18:50 小林 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *国際ロータリー第2780地区パストガバナー 地区研修委員会 委員長
相澤 光 春 様 (ふじさわ湘南ロータリークラブ)
*地区研修委員会委員 田 島 透 様 (ふじさわ湘南ロータリークラブ)

<会 長 報 告> *第9回理事役員会 報告

*ガバナー事務所より

- ・2018年度新規米山奨学生及び継続学生のためのオリエンテーション開催のご案内について

4月14日(土) 13:00~15:45 オリエンテーション

16:00~17:30 奨学生歓迎会

於: 小田原箱根商工会議所

<出 席 報 告> *出席委員会 植田委員長より3月23日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
115名	95名	55名	41名	16名	70.30%

<ニコニコ報告>

- ・RI2780地区パストガバナー、地区研修委員会委員長 相澤 光 春 様
本日は横須賀RCにおじゃまでき大変ありがとうございます。田島会員と共に参加いたしました。
- ・三 役 RI2780地区パストガバナー、地区研修委員会委員長 相澤光春様、ふじさわ湘南ロータリークラブ 田島 透様ようこそお越しくございました。
- ・小佐野、谷、澤 田、野 坂、瀬 戸、鈴木 隼、福 西、勝 間、加藤 侑、佐久間、飯 塚、長 尾、上 林、波 島、齋藤 眞、物 井、北 村、八 巻 各会員
地区研修委員長、パストガバナー相澤光春様、田島透様ようこそお越しくございました。本日の講演よろしくお願ひします。
- ・物 井、鈴木 隼 両会員 誕生月祝いとして
- ・三 役 吉田ロータリー情報・研修委員長、本日はよろしくお願ひいたします。
- ・澤 田、福 西、田 邊、飯 塚 各会員
吉田清ロータリー情報・研修委員長、本日の情報集会よろしくお願ひ 致します。
- ・吉田ロータリー情報・研修委員長 本日の情報セミナー、相澤パストガバナーよろしくお願ひ致します。
- ・三 役 池上会員、淡路会員、藤原会員、新天地でのご活躍を祈念いたします。
- ・谷、植 田、澤 田、秋 本、福 西、兼 城、田 邊、八 巻、飯 塚、Enora 各会員

池上会員、淡路会員、藤原会員、大変お世話になりました。新天地でもご活躍下さい。

- ・池上 会員 4月1日付で新潟・長岡支社へ転勤することになりました。4年7カ月間本当にお世話になりありがとうございました。
- ・淡路 会員 大変御世話になりました。一年半の間、本当にありがとうございました。私にとっては横須賀=ロータリーと言っても過言ではありません。ありがとうございました。
- ・西村 会員 出席出来ません。申し訳ございません。

<閉会・点鐘> 18:57

懇 親 会

<乾 杯> 上 林 茂 会員

<斉 唱> 「手に手つないで」

<閉 会> 20:30 岡 田 英 城 副会長

週報担当 原 田 早 苗